



Cisco CloudCenter リリース ノート、リリース 4.6.1

初版:2016 年 11 月 7 日

シスコシステムズ合同会社
〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー
<http://www.cisco.com/jp>
お問い合わせ先: シスココンタクトセンター
0120-092-255 (フリーコール、携帯・PHS含む)
電話受付時間: 平日 10:00~12:00、13:00~17:00
<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>

【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意
(www.cisco.com/jp/go/safety_warning/) をご確認ください。

本書は、米国シスコシステムズ発行ドキュメントの参考和訳です。
リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動 / 変更されている場合がありますことをご了承ください。
あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。

また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザ側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよびこれら各社は、商品性の保証、特定目的への準拠の保証、および権利を侵害しないことに関する保証、あるいは取引過程、使用、取引慣行によって発生する保証をはじめとする、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、ネットワークポロジ図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. シスコの商標の一覧は、<http://www.cisco.com/go/trademarks> でご確認ください。Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1110R)

© 2016 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco CloudCenter リリース ノート、リリース 4.6.1

- リリース日
- アーキテクチャ
- クラウド
- アプリケーションおよびサービス
- 管理およびガバナンス
- セキュリティ
- 廃止
- CCM UI
- API
- CLI
- マニュアル
- 既知の問題
- 解決済みの問題

リリース日

2016 年 11 月 7 日

アーキテクチャ

更新なし。

クラウド

- インスタンス タイプとイメージの同期に関するサポートは、以前の AWS および SoftLayer に対するサポートとともに、Azure、AzureRM、Google、および Dimension Data で使用できるようになりました。追加のコンテキストについては、「[インスタンス タイプの管理](#)」を参照してください。
- オプションの [Instance Profile] フィールドは、導入環境を設定する場合、または導入環境のデフォルトを設定する場合に使用できます。このフィールドを設定する場合は、AWS クラウド アカウントで設定されている [インスタンス プロファイル](#) に使用される Amazon リソース名 (ARN) を指定します。
- 新規のクラウド地域：
 - AWS：
 - 米国東部 (オハイオ)
 - 完全なリストについては、「[パブリック クラウド](#)」を参照してください
 - AzureRM：
 - 英国南部 (ロンドン)
 - 英国西部 (カーディフ)
 - 完全なリストについては、「[パブリック クラウド](#)」を参照してください
 - OpenStack (4.6.0 で使用可能、4.6.1 でテストおよび検証済み)
 - 三鷹
 - ニュートン
 - 完全なリストについては、「[データセンターおよびプライベート クラウド](#)」を参照してください
- 新規 AWS インスタンス タイプ：



インスタンス タイプは、各地域に固有のものではありません。インスタンスによっては、一部の地域では使用できない場合があることに注意してください。

- g2.8xlarge
- m4.16xlarge
- p2.8xlarge
- p2.xlarge
- t2.nano
- x1.16xlarge
- x1.32xlarge

アプリケーションおよびサービス

- ワークフローの変更:
 - ノード初期化ワークフロー用に、アプリケーション プロファイルおよび外部サービス環境変数が他のすべての階層に投入されます。
 - VM 階層の外部初期化ワークフロー用に、アプリケーション階層レベル、サービス レベル、地域レベル、およびアプリケーション プロファイルからの環境変数が他のすべての階層に投入されます。
 - 追加のコンテキストについては、「導入ライフサイクル スクリプト」を参照してください。
- CloudCenter アプリケーションのいずれかのアプリケーション階層に対し [Provision Hardware Server] チェックボックスをオンにすると、(すべての階層に対する)その導入の一環として作成されたすべてのアプリケーション VM は、ペア メタル サーバとなります。追加のコンテキストについては、「ペア メタル サーバのプロビジョニング」を参照してください。

管理およびガバナンス

- 名前が変更されたレポート: 次のレポートは、各レポートで提供される情報に準拠するように名前が変更されました。
 - Usage Summary Report は、Usage Details Report に名前が変更されました。
 - Spend Summary Report は、Usage Summary Report に名前が変更されました。
 - VM Inventory Report は、Managed VM Inventory Report に名前が変更されました。
 - Un-Managed VM Inventory Report は、Unmanaged VM Inventory Report に名前が変更されました。

セキュリティ

- パスワードの長さ: Cloud Center では現在、すべての設定でパスワードの最小の長さを 5 文字にする必要があります。
- 電子メールの通知: CloudCenter プラットフォームでは、有効期限前にパスワードを変更するようにユーザに通知する電子メールがトリガーされます。
- 追加のコンテキストについては、「パスワードのリセット」を参照してください。

廃止

次の機能は非推奨の有効な CloudCenter 4.6 です。

- Trial Users Report は非推奨になりました。
- Invoice Summary Report は非推奨になりました。
- RackSpace クラウドのサポートは廃止されました。

これらのリファレンスは CloudCenter 4.6 のドキュメントから削除されます。

CCM UI

このリリースでの UI の変更に関する追加のコンテキストについては、このページで提供されるリンクを参照してください。

API

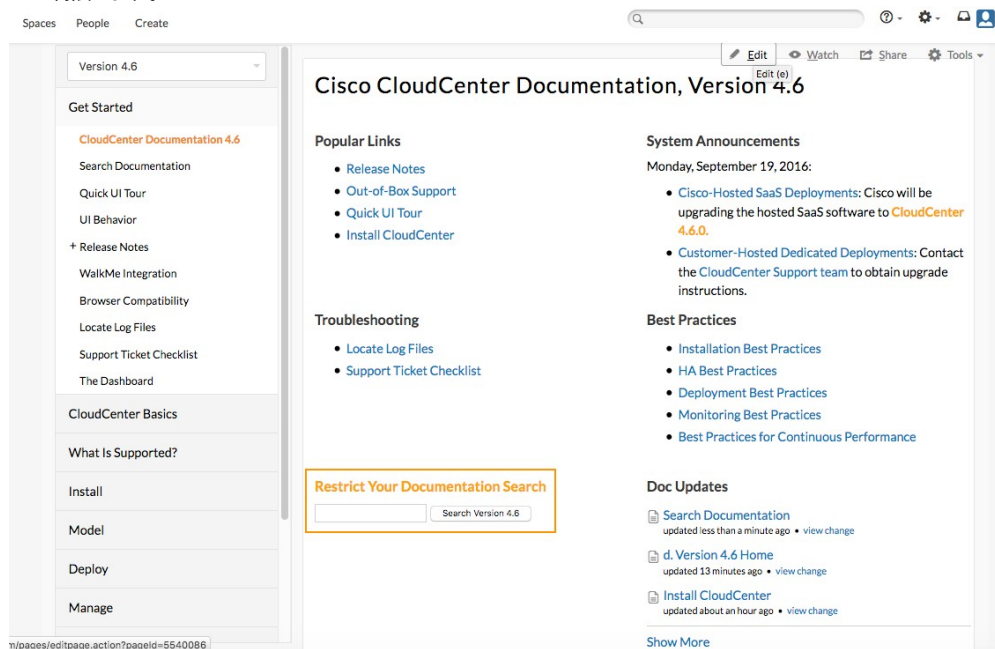
- 新しい API: なし
- 更新された API:
 - v1 APIs:
 - List VMs API は、vmOperationData 属性を含むように更新されました。
 - v2 APIs: 次の API は、各レポートで提供される情報に準拠するように名前が変更されました。
 - View Usage Summary Report API は、View Usage Details Report に名前が変更されました。
 - View Spend Summary Report は、View Usage Summary Report に名前が変更されました。
 - View VM Inventory Report は、View Managed VM Inventory Report に名前が変更されました。
 - View Un-Managed VM Inventory Report は、View Unmanaged VM Inventory Report に名前が変更されました。

CLI

更新なし。

マニュアル

- **CloudCenter 4.6.1 の変更:** このリリースのドキュメントに関する追加のコンテキストについては、この項で提供されるリンクを参照してください。
- **ServiceNow の追加:** CloudCenter-ServiceNow 統合アプリケーションをサポートするために、次のページが追加されました。
 - [アーキテクチャ概要](#)
 - [統合の概要](#)
 - [インストールおよび設定](#)
- **インストールドキュメントフロー:** CloudCenter をインストールするためのドキュメントフローは完全に書き直されます。ハイ アベイラビリティの手順には、インストールのフローが含まれ、すべてのコンポーネント、モード、およびシナリオに対しシームレスな導入を実現しています。新しいバージョンは、次のセクションで構成されます。
 - **インストール**
 - [プラットフォーム アーキテクチャ](#)
 - [CloudCenter コンポーネント](#)
 - [設置の概要](#)
 - [インストール方法](#)
 - [コンポーネント モードとロール](#)
 - [フェーズ 1: インフラストラクチャの準備](#)
 - [フェーズ 2: ネットワーク ルールの設定](#)
 - [フェーズ 3: ネットワーク コンプライアンス チェックの実行](#)
 - [フェーズ 4: コンポーネントのインストール](#)
- **サポートへのお問い合わせ:** サポート チームへの問い合わせ先リンクは現在 <https://mycase.cloudapps.cisco.com/case> です。すべてのオカレンスに新しいリンクが反映されます。
- **検索結果:**
 - すべてのドキュメント検索結果に、各 CloudCenter バージョンから入手可能なすべてのリリースが表示されます。目的のバージョンを選択してください。
 - ホームページにある [Restrict Your Documentation Search] フィールド(次の図で強調表示されている)では、検索結果をそのリリースのみに制限します。



たとえば、CloudCenter 4.6 のホームページが Cisco CloudCenter Documentation, Version 4.6 である場合は、[Search Documentation] フィールドに検索テキストを入力します。

- 追加のコンテキストについては、「[ドキュメントの検索](#)」を参照してください。

既知の問題

CloudCenter 4.6.1 には次の既知の問題があります。

- インストーラを使用して CCM をインストールして、CCM を設定し、CCM VM をリポート/再起動する場合は、Tomcat が自動的に再起動します。ただし、状況によっては Tomcat を手動で起動する必要があります。

解決済みの問題

次の問題は、CloudCenter 4.6.1 で解決済み/対応済みです。

- 問題:** SoftLayer クラウドにアプリケーションを展開する際に、アプリケーションの展開は正常に行われます。しかし、[Managed VM Inventory Report] ページから VM の電源をオフにしたりリポートしようとする、タスクが完了しません。これらの操作は、[Job Details] ページから引き続き動作します。

解決方法: CloudCenter 4.6.1 では、SoftLayer アプリケーションの展開用に、[Managed VM Inventory Report] ページから VM の電源をオフにしたりリポートするための修正が提供されています。
- 問題:** イメージに VM テンプレートをマッピングする際に、展開が失敗する可能性があります。この問題を回避するには、テンプレートを VM に変換して、スナップショットを取得し、リンク クローン モードを使用します。

解決方法: スナップショットおよび VM テンプレートの両方に対してフル クローン オプションを使用できます。VM テンプレートを使用して VMware クラウドのイメージを設定する場合は、フル クローンとリンクド クローン モードの影響に注意してください。追加のコンテキストについては、「VMware 設定」を参照してください。
- 問題:** アプリケーション プロファイルで定義したパス パラメータ(グローバル パラメータまたは階層レベルのカスタム パラメータ)が、[Deployments] ページに設計どおりに表示されません。

解決策: パス パラメータは、アプリケーションの展開時にいずれかのパラメータ タイプとしてグローバル レベルで追加されるようになりました。
- 問題:** AzureRM を使用する VM とプライベート vCenter クラウドを使用する VM が混在するハイブリッド クラウドに、負荷分散 VM のクラスタを展開した場合、展開は正常に実行され、すべての VM が設計どおりに動作し、HAProxy VM から IP アドレスにアクセスできます。しかし、ロード バランサはラウンド ロビン ペイロードを確保するために、VM の 1 つにトラフィックをルーティングしません。

解決方法: AzureRM 階層の IP アドレスは、非 AzureRM 階層に伝搬されませんでした。CloudCenter 4.6.1 には、IP アドレスが正確に伝播されるようにするための修正が含まれています。
- 問題:** 日本語ロケール対応 OS で vCenter に入ると、vCenter リソース名がローカライズされたひらがなと漢字の文字セットで戻され、(導入の一部である)VM の再設定が完了しません。

解決方法: オプション キー `vmware.scscsi0.la bel.regex` を使用して `gateway.properties` で上書きして他の正規表現を定義できます。この上書きによって、デフォルトの正規表現があるロケールで失敗してもフローは作業を継続できます。このキーは `gateway.properties` ファイルでのオプションなので、デフォルトでは存在しません。このプロパティは、SCSI コントローラ 0 のラベルと一致させるために使用する正規表現を変更する場合に使用されます。また、必要に応じて、その他のロケール環境用にこの上書きを編集して使用できます。
- 問題:** イメージに VM テンプレートをマッピングする際に、展開が失敗する可能性があります。この問題を回避するには、テンプレートを VM に変換して、スナップショットを取得し、リンク クローン モードを使用します。

解決方法: CloudCenter 4.6.1 には、VM テンプレートを使用した VMware 導入が設計どおりに動作することを保証するための修正が含まれています。追加のコンテキストについては、「VMware 設定」を参照してください。
- 問題:** CloudCenter 4.5.1 から CloudCenter 4.6.0 にアップグレードした後、ELB および RDS サービスの停止、再開、または終了ができませんでした。

解決方法: CloudCenter 4.6.1 では、CloudCenter 4.6.1 にアップグレードした後の ELB および RDS サービスの停止、再開、または終了を可能にする修正が提供されています。
- 問題:** キュー内のエージェントからのハートビート メッセージが多すぎます。

解決方法: CloudCenter 4.6.1 では、ノード ハートビートが少ないオーバーヘッドで検出されるように方法を変更するための修正が提供されています。この修正は、CloudCenter 4.5.6 で初めて導入され、このリリースにも移植されました。
- 問題:** 選択的な CloudCenter 導入で一部のインスタンスが、エージェントが実行状態であっても CCM UI に表示されませんでした。

解決方法: CloudCenter 4.6.1 では、VM ハートビートが検出される方法を変更するための修正が提供されています。また、ハートビートを処理する修正済みの方法によってもこの問題が解決されています。
- 問題:** 命名コールアウトを使用せず、起動した VM のホスト名を設定する必要がない場合、`/usr/local/osmosix/etc/hostname` ファイルおよびスクリプトでもホスト名を更新する機能がありませんでした。

解決方法: CloudCenter 4.6.1 には、必要ときに復元できるように VM でホスト名を持続させるための修正が含まれています。
- 問題:** VMware クラウド用に IPAM コールアウト スクリプトを作成する際に、パスワード タイプ パラメータが使用不可能でスクリプトにも渡されません。IPAM コールアウト スクリプトで使用できるのはパスワード以外のパラメータのみです。

解決方法: CloudCenter 4.6.1 には、タイプ パスワードのパラメータが IPAM コールアウトに渡されるようにするための修正が含まれています。